

# 利賀っ子だより



R 3 . 4 . 2 0

4月から再び利賀小学校に勤務することになりました高田公美（たかた ひろみ）です。

豊かな自然、脈々と受け継がれる伝統文化、そして、地域の皆様の強い絆等、魅力あふれる利賀の地で育つ子供たちのために、力を尽くしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

《グラウンドの桜》



今年度の重点目標を「**他と関わりながら、自分で考え、判断し、行動する子供の育成**」としました。今年度、6名の「南砺利賀みらい留学生」を受け入れました。新しい人間関係が生まれます。また、これまで当たり前と思っていたことが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当たり前ではなくなっていることがたくさんあります。こんな中、子供たちにとって、周囲の人と考えを出し合い、自分で決めて行動していくことがこれまで以上に大切になってきます。このことについては、始業式に子供たちにも話をしました。

教職員はもちろん、保護者の方々、地域の皆様と一緒に「チーム利賀」として利賀の子供たちのよりよい成長を支えることができたらと思っております。そのためにも、学校運営に対する考えや子供たちの様子を随時お知らせしたいと思っております。不定期の発行となると思いますが、読んでいただけましたら幸いです。

## 《子供たちの姿から》

### ○「僕たちのおどりだから」

運動会に向けて、むぎや踊りの練習を始めました。その際、こんなやり取りがありました。

4年留学生:「どうして運動会にこの踊りするの?」

4年生男子:「だって、これ、僕たちの踊りだから。」

「誇り高い文化を自分たちが受け継いでいる」ということを特に意識していたわけではないかもしれ



ませんが、きっぱりと「僕たちのおどり」と言い切ったところに感動を覚え  
ました。留学生を受け入れたことによって、利賀の子供たちが今まで何気なく思  
っていたことを、改めて意識し直す機会が増えるのかなと思いました。

質問した留学生も「そうか。」と言って笠を持って練習場所に移動していきま  
した。

### ○「次の人のために」

利賀小学校では、朝掃除を行っています。広い校舎を 15  
人で分担して掃除するのですから、1人当たりの持ち場は  
大変広いです。

床掃除をするために、雑庫から掃除機を出していた S さ  
ん、扉が閉まらないように片手で押えながら、もう片方の  
手で掃除機を出していました。なかなか大変そうなので、  
「扉、持ってるよ。」と私は扉が閉まらないように押えてい  
ました。すると、自分が使う掃除機だけでなく、「次の人のためにこれも出して  
おこう。」と2台めの掃除機も出しました。「自分で考え、判断し、行動する子  
供」こんなことがさりげなくできる利賀っ子が増えるといいなと思いました。



### ○ はきもものをそろえる



この日は、3・4年生の最初の書写の時間でした。  
書写の時間は、プレイルームに座卓を置いて学習  
します。きちんと正座をして先生の話をしている  
姿が目にとまりました。そして、プレイルームの隅  
には脱いだ内履きがきちんと並べてあるのも目に入  
りました。担当する中学校の先生が並べておこう  
に指導してくださったのか、自分たちでそうしたの  
かは確かめていませんが、書写の学習に向かう心が  
伝わりました。大事な所作として身に付けてほしいも  
のです。